



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月4日

上場会社名 日本化成株式会社
コード番号 4007 URL <http://www.nkchemical.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 中村 英輔

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 関 信哉

TEL 03-5540-5861

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	7,448	△15.2	380	△26.1	302	△32.7	△131	—
23年3月期第1四半期	8,781	14.3	514	—	449	—	168	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △148百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 146百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△1.25	—
23年3月期第1四半期	1.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	37,918	—	10,706	—	—	29.0
23年3月期	39,375	—	11,064	—	—	28.8

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 11,007百万円 23年3月期 11,334百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	2.00 ～3.00	2.00 ～3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,330	△7.7	310	△78.8	360	△74.8	130	△82.6	1.24
通期	37,450	△4.3	1,980	△35.8	2,060	△31.4	1,060	—	10.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	105,115,800 株	23年3月期	105,115,800 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	26,973 株	23年3月期	26,873 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	105,088,852 株	23年3月期1Q	105,090,477 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

(説明資料) 平成24年3月期 第1四半期決算概要

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、東日本大震災で被災した生産設備・サプライチェーンの復旧や、個人消費、設備投資マインドの持ち直し等により、逐次回復傾向が見られましたが、電力の供給制約等に加え、米国景気の減速懸念、欧州の財政不安、金融引締め下の新興国経済の動向、更には急激な円高等、諸リスクを抱え、先行き見通しが極めて不透明な状況にあります。

このような状況の下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、先ずは、被災した小名浜工場の復旧に全力を尽くし、生産面での立ち上げをほぼ完了させる中で、機能化学品事業及び無機化学品事業の一部が比較的堅調に推移しましたが、アンモニア系製品、ホルマリン、木材加工用接着剤、電子工業用高純度薬品等の諸製品が、製造設備損傷による操業停止、或いは一部主要顧客の復旧の遅れ等に伴う稼働率の低下といった状況に見舞われ、更にゴム用カーボンブラックの製造終了、産業廃棄物処理関連業の事業撤退等の事業判断も加わり、全体的な販売数量が減少したことから、前年同期に比べ減収・減益となりました。

具体的には、当第1四半期連結累計期間の売上高は7,448百万円（前年同期比15.2%減）となりました。損益につきましては、営業利益は380百万円（前年同期比26.1%減）、経常利益は302百万円（前年同期比32.7%減）となりました。一方、四半期純損益につきましては、震災による操業停止期間中の固定費等を「災害による損失」として特別損失に計上したため、131百万円の損失（前年同四半期は四半期純利益168百万円）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

(無機化学品事業)

硝酸をはじめとするアンモニア系製品は、需要減に加え、震災により硝酸製造設備が損傷し操業停止したことにより、販売数量、売上高とも減少しました。ゴム用カーボンブラックは、震災による設備損傷等により操業停止を余儀なくされ、製造終了を決定しましたが、一部在庫の販売を行いました。合成石英粉は、半導体関連分野の需要が堅調に推移したことから、販売数量、売上高とも増加しました。ディーゼル車脱硝用高品位尿素水（アドブルー）は、市場競争の激化により、販売数量、売上高とも減少しました。

その結果、全体の売上高は3,586百万円（前年同期比14.8%減）となりました。

(機能化学品・化成品事業)

タイヤ（ゴム、プラスチック架橋助剤）は、フッ素樹脂及びフッ素ゴム等従来向け用途に加え、太陽電池封止材向け需要の伸張が継続したこと等により、また、紫外線硬化性樹脂は、需要回復等により、いずれも販売数量、売上高とも増加しました。一方、脂肪酸アミドは、震災により製造設備が損傷し操業停止したこと等により、また、電子工業用高純度薬品は、一部主要顧客の復旧の遅れ等により、何れも販売数量、売上高とも大幅に減少しました。

メタノールは、販売数量、売上高とも前年同期並みとなりましたが、ホルマリン及び木材加工用接着剤は、震災による製造設備の操業停止、主要顧客の復旧の遅れ等により、販売数量、売上高とも大幅に減少しました。

その結果、全体の売上高は2,846百万円（前年同期比17.7%減）となりました。

(エンジニアリング事業)

小名浜工場の被災設備復旧を初めとする諸対応に注力する中で、一般プラント工事の受注が相対的に減少する状況となりましたが、震災の影響等により大型工事案件が前期から当期に検収ずれしたこと等により、売上高は687百万円（前年同期比57.2%増）となりました。

(その他)

貨物運送・荷役事業は、震災による設備損傷及び主要顧客の被災等により、売上高が減少しました。有機溶剤等の蒸留・精製業は、処理量の減少、震災による設備損傷等により、売上高が減少しました。産業廃棄物処理関連業は、震災による設備損傷等により操業停止を余儀なくされ、8月末日をもって事業撤退することを決定いたしました。

その結果、全体の売上高は302百万円（前年同期比51.4%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比し1,457百万円減少し、37,918百万円となりました。これは、主にたな卸資産等が増加したものの、現金及び預金並びに売上債権等が減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比し1,099百万円減少し、27,212百万円となりました。これは、主に流動負債のその他等が増加したものの、仕入債務及び災害損失引当金等が減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比し358百万円減少し、10,706百万円となりました。これは、主に四半期純損失及び支払配当金等により利益剰余金が減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は29.0%（前連結会計年度末は28.8%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

前述のとおり、今後の日本経済は、電力の供給制約、円高の進行、海外経済の変調といった諸リスクを抱え、先行き見通しが極めて不透明な状況にあります。当社といたしましては、第2四半期以降、順次生産面及び業績面での立ち上げを成し遂げ、秋口以降、震災前の業績軌道に戻すという当初道筋に沿って力強く前進することとしております。

このような状況を踏まえ、平成24年3月期の連結業績につきましては、現時点で平成23年5月12日に発表いたしました計画から変更はありませんが、今後の状況変化に伴い、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想について見直しが必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,468	2,887
受取手形及び売掛金	10,171	7,902
商品及び製品	2,059	2,309
仕掛品	1,160	1,638
原材料及び貯蔵品	1,470	1,474
その他	2,524	3,211
貸倒引当金	△10	△9
流動資産合計	20,842	19,412
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,148	3,338
機械装置及び運搬具(純額)	2,866	3,347
土地	6,941	6,941
建設仮勘定	1,192	538
その他(純額)	177	189
有形固定資産合計	14,324	14,353
無形固定資産		
その他	63	70
無形固定資産合計	63	70
投資その他の資産		
その他	4,170	4,107
貸倒引当金	△24	△24
投資その他の資産合計	4,146	4,083
固定資産合計	18,533	18,506
資産合計	39,375	37,918

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,635	5,482
短期借入金	10,957	10,977
未払法人税等	728	891
賞与引当金	356	109
災害損失引当金	2,759	2,528
その他	2,401	2,787
流動負債合計	23,836	22,774
固定負債		
長期借入金	1,020	968
退職給付引当金	2,989	3,051
役員退職慰労引当金	95	79
事業整理損失引当金	61	42
その他	310	298
固定負債合計	4,475	4,438
負債合計	28,311	27,212
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,593	6,593
利益剰余金	4,751	4,410
自己株式	△5	△5
株主資本合計	11,339	10,998
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5	9
その他の包括利益累計額合計	△5	9
少数株主持分	△270	△301
純資産合計	11,064	10,706
負債純資産合計	39,375	37,918

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	8,781	7,448
売上原価	6,807	5,764
売上総利益	1,974	1,684
販売費及び一般管理費	1,460	1,304
営業利益	514	380
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	13	7
持分法による投資利益	4	—
受取賃貸料	16	17
その他	15	16
営業外収益合計	48	41
営業外費用		
支払利息	35	30
持分法による投資損失	—	80
減価償却費	56	—
その他	22	9
営業外費用合計	113	119
経常利益	449	302
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	159	—
災害による損失	—	444
投資有価証券評価損	—	23
特別損失合計	159	467
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	290	△165
法人税、住民税及び事業税	289	165
法人税等調整額	△161	△168
法人税等合計	128	△3
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	162	△162
少数株主損失(△)	△6	△31
四半期純利益又は四半期純損失(△)	168	△131

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	162	△162
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	14
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	△16	14
四半期包括利益	146	△148
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	152	△117
少数株主に係る四半期包括利益	△6	△31

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (4) セグメント情報等
(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (百万円) (注)1	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注)3
	無機化学品 事業 (百万円)	機能化学 品・化成品 事業 (百万円)	エンジニア リング事業 (百万円)	計 (百万円)				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	4,209	3,459	437	8,105	622	8,727	54	8,781
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	-	9	17	26	66	92	△92	-
計	4,209	3,468	454	8,131	688	8,819	△38	8,781
セグメント利益 又は損失(△)	219	315	△27	507	△27	480	34	514

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物運送・荷役事業、サービス関連業(熱供給業、有機溶剤等の蒸留・精製業、産業廃棄物処理関連業等)を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額

	金額(百万円)
電気及び蒸気の販売による利益	4
その他の調整額※1	68
全社費用※2	△38
合計	34

※1. その他の調整額は、主に各報告セグメントに帰属しない全社資産に係るものであります。

※2. 全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費の予定配賦額と実績発生額との差額及び報告セグメントに帰属しない一般管理費、研究開発費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (百万円) (注)1	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注)3
	無機化学品 事業 (百万円)	機能化学 品・化成品 事業 (百万円)	エンジニア リング事業 (百万円)	計 (百万円)				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	3,586	2,846	687	7,119	302	7,421	27	7,448
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	-	3	49	52	40	92	△92	-
計	3,586	2,849	736	7,171	342	7,513	△65	7,448
セグメント利益 又は損失(△)	196	151	67	414	△46	368	12	380

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物運送・荷役事業、サービス関連業（熱供給業、有機溶剤等の蒸留・精製業、産業廃棄物処理関連業等）を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額

	金額(百万円)
電気及び蒸気の販売による利益	2
その他の調整額※1	52
全社費用※2	△42
合計	12

※1. その他の調整額は、主に各報告セグメントに帰属しない全社資産に係るものであります。

※2. 全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費の予定配賦額と実績発生額との差額及び報告セグメントに帰属しない一般管理費、研究開発費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

平成24年3月期 第1四半期決算概要

日本化成株式会社

1. 連結業績

[単位:百万円]

	当第1四半期 連結累計期間 (H23.4.1- H23.6.30)	前年同四半期 連結累計期間 (H22.4.1- H22.6.30)	増減	
			金額	率
売上高	7,448	8,781	△ 1,333	-15.2%
営業利益	380	514	△ 134	-26.1%
金融収支	△ 22	△ 22	0	※1
その他営業外	24	△ 47	71	※2
持分法損益	△ 80	4	△ 84	
経常利益	302	449	△ 147	-32.7%
特別損益	△ 467	△ 159	△ 308	※3
税引前利益	△ 165	290	△ 455	-
四半期純利益	△ 131	168	△ 299	-
1株当たり四半期純利益	△1円25銭	1円60銭		

※1金融収支の内訳

	H23/6	H22/6	差
受取配当金	7	13	△6
支払利息	△30	△35	5

※2その他営業外差異主な内訳

	H23/6	H22/6	差
減価償却費	-	△56	56

※3特別損益主な内訳

	当第1 四半期	前年同 四半期
災害による損失(注)	△ 444	-
投資有価証券評価損	△ 23	-
資産除去債務会計適用影響額	-	△ 159
計	△ 467	△ 159

(注)内訳：震災による操業停止期間中の固定費等

①セグメント別売上高(連結)

		当第1四半期 連結累計期間 (H23.4.1- H23.6.30)	前年同四半期 連結累計期間 (H22.4.1- H22.6.30)	増減
報告 セグ メン ト	無機化学品	3,586	4,209	△ 623
	機能化学品・化成品	2,846	3,459	△ 613
	エンジニアリング	687	437	250
その他		302	622	△ 320
調整額		27	54	△ 27
計		7,448	8,781	△ 1,333

無機材料は半導体関連分野の需要が堅調に推移したことから販売数量増となったものの、アンモニア系製品は震災による設備損傷及び需要減等により、またゴム用カーボンブラックは震災による設備損傷等により製造終了を決定したことから、それぞれ販売数量減となり対前年同期比減収
 タイヤ(ゴム、プラスチック架橋助剤)は需要の伸張が継続したこと等により販売数量増となったものの、脂肪酸アミド、電子工業用高純度薬品及びホルマリン・木材加工用接着剤は震災の影響等により販売数量減となり対前年同期比減収
 小名浜工場の被災設備復旧を初めとする諸対応に注力する中で、一般プラント工事の受注が相対的に減少したものの、震災の影響等により大型工事事案件が前期から当期に検収ずれしたこと等により対前年同期比増収
 貨物運送・荷役事業は震災による設備損傷及び主要顧客の被災等により、また有機溶剤等の蒸留・精製業は処理量の減少、震災による設備損傷等により、加えて産業廃棄物処理関連業は震災により事業撤退を決定したことから対前年同期比減収
 上記セグメントに属さない電気・蒸気等のコーポレート部門の売上高を調整額として表示

②セグメント別営業利益(連結)

		当第1四半期 連結累計期間 (H23.4.1- H23.6.30)	前年同四半期 連結累計期間 (H22.4.1- H22.6.30)	増減
報告 セグ メン ト	無機化学品	196	219	△ 23
	機能化学品・化成品	151	315	△ 164
	エンジニアリング	67	△ 27	94
その他		△ 46	△ 27	△ 19
調整額		12	34	△ 22
計		380	514	△ 134

無機材料は販売数量増となったものの、アンモニア系製品は震災の影響等により、ゴム用カーボンブラックは製造終了決定により販売数量が減少し対前年同期比減収
 タイヤ(ゴム、プラスチック架橋助剤)は販売数量増となったものの、脂肪酸アミド、電子工業用高純度薬品及びホルマリン・木材加工用接着剤は震災の影響等により販売数量が減少し対前年同期比減収
 震災の影響等により大型工事事案件が前期から当期に検収ずれしたこと等により対前年同期比増益
 貨物運送・荷役事業及び有機溶剤等の蒸留・精製業は震災等の影響により、また産業廃棄物処理関連業は震災により事業撤退を決定したことから対前年同期比減収
 上記セグメントに属さない電気・蒸気等のコーポレート部門の損益を調整額として表示
 (含みらいプロジェクト開発費用 H23第1Q △36 H22第1Q △30)

2. 連結比較貸借対照表

	当第1四半期 連結会計期間末 (H23.6.30)	前連結会計 年度末 (H23.3.31)	増減		当第1四半期 連結会計期間末 (H23.6.30)	前連結会計 年度末 (H23.3.31)	増減
現金預金	2,887	3,468	△ 581	有利子負債	11,945	11,977	△ 32
たな卸資産	5,421	4,689	732	営業債務他 ※2	15,267	16,334	△ 1,067
営業債権他 ※1	11,104	12,685	△ 1,581	株主資本	10,998	11,339	△ 341
固定資産(有形・無形)	14,423	14,387	36	その他の包括利益累計額	9	△ 5	14
投融資等	4,083	4,146	△ 63	少数株主持分	△ 301	△ 270	△ 31
資産合計	37,918	39,375	△ 1,457	負債・純資産合計	37,918	39,375	△ 1,457

(注)自己資本=純資産-少数株主持分
 D/EV比率=有利子負債/自己資本

自己資本	11,007	11,334	△ 327
自己資本比率	29.0%	28.8%	0.2%
有利子負債	11,945	11,977	△ 32
D/EV比率	1.09	1.06	0.03

※1 増減内訳：売上債権 △2,269、短期貸付金 +390、繰延税金資産他 +298

※2 増減内訳：仕入債務 △1,153、災害損失引当金 △231、未払法人税等他 +317

3. 連結キャッシュ・フロー

(参考)

	当第1四半期 連結累計期間 (H23. 4. 1 - H23. 6. 30)		前年同四半期連 結累計期間 (H22. 4. 1 - H22. 6. 30)
営業活動によるCF	397	売上債権減 2,269、災害損失 444、減価償却費 346、仕入債務減 △1,153 たな卸資産増 △732、災害損失の支払額 △675、賞与引当金減他 △102	1,576
投資活動によるCF	△734	短期貸付 △390、設備投資 △344	△222
フリー・キャッシュ・フロー	△337		1,354
財務活動によるCF	△244	配当金の支払 △212、借入金の返済 △32	△870
現金及び現金同等物に係る 換算額	0		△1
現金及び現金同等物の増減	△581		483

4. 連結通期業績予想

(平成23年5月12日発表)

	24年3月期			23年3月期 実績	増減		※特別損益(予想)の主な内訳
	上期	下期	通期		金額	率	
売上高	17,330	20,120	37,450	39,118	△1,668	-4.3%	
営業利益	310	1,670	1,980	3,086	△1,106	-35.8%	
経常利益	360	1,700	2,060	3,005	△945	-31.4%	
特別損益	△150	△150	△300	△4,753	4,453		
税前損益	210	1,550	1,760	△1,748	3,508	-	
当期純利益	130	930	1,060	△961	2,021	-	
1株当り当期純利益	1円24銭	8円85銭	10円09銭	△9円14銭			
1株当り配当金(期末のみ)		2~3円	2~3円	2円			

	24年3月期 通期	23年3月期 実績
災害による損失	-	△4,387
資産除去債務会計適用影響額	-	△159
固定資産処分損	△300	△103
減損損失	-	△53
その他	-	△51
計	△300	△4,753

①セグメント別売上高(連結)

	24年3月期			23年3月期 実績	増減	
	上期	下期	通期			
報告セグメント						
無機化学品	8,020	8,380	16,400	18,671	△2,271	ゴム用カーボンブラックの製造終了に伴う販売数量減及び震災によるアミノ系製品販売数量減等による減収
機能化学品・化成品	7,400	7,700	15,100	14,134	966	タイヤ(ゴム、プラスチック架橋剤)及びその他機能化学品等の販売数量増
エンジニアリング	1,810	2,090	3,900	3,601	299	一般プラント工事受注増
その他	910	940	1,850	2,491	△641	産業廃棄物処理関連業の事業撤退に伴う減収等
調整額	100	100	200	221	△21	
計	17,330	20,120	37,450	39,118	△1,668	

②セグメント別営業利益(連結)

	24年3月期			23年3月期 実績	増減	
	上期	下期	通期			
報告セグメント						
無機化学品	△60	610	550	1,542	△992	ゴム用カーボンブラックの製造終了及びアミノ系製品の販売数量減等により減益
機能化学品・化成品	400	780	1,180	1,423	△243	化成品関連の販売数量減等に伴い減益
エンジニアリング	0	250	250	82	168	一般プラント工事受注増により増益
その他	△50	0	△50	△18	△32	有機溶剤等の蒸留・精製業における処理量減等により減益
調整額	20	30	50	57	△7	
計	310	1,670	1,980	3,086	△1,106	